

かわむらこどもクリニック NEWS

Volume 25 No 11

292号

平成29年11月10日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

子育て支援の極意、それは『お母さんの不安心配の解消』

院長

今月号のテーマは、多くの人にとって意味不明かもしれませんが、皆さんもご存知のように、11月3日～4日に沖縄で開催された「日本小児診療多職種研究会」に行ってきました。4日には、お休みをいただきありがとうございます。今月もまた旅行記かと思っているかもしれませんが、相変わらずのお詫びの印として記事にしますので読み物として楽しんでいただければ幸いです。

3日文化の日に仙台から那覇の直行便で沖縄に向かいました。今回の目的は、研究会のランチョンセミナー（ランチョン）です。以前も説明しましたが、ランチョンとは、医療関連メーカーがお弁当を提供する昼休みの講演会です。以前何度か紹介した時には、座長と呼ばれる司会者を担当しました。座長は原則学会の会員や地元が担当するのですが、今回は講師として選ばれたので沖縄まで行くことになったのです。

メーカーが提供する講演会の場合、通常移動手段にも気を遣ってくれます。沖縄まで3時間のフライトですから、少しいいシートを準備してくれるはずでした。ところが手配が遅れたのと連休による混雑で、エコノミーシートしか手配できなかったのです。3時間もの間狭いシートで、隣に超太った人や化粧品の匂いがきつい人が来たら心配しながらの搭乗でした。そんな心配をよそに、全席満員のアナウンスにもかかわらず、なんと隣は空席でした。ありえないことですが、メーカーがお詫びの印に2席取ってくれたと思うほどでした。ということで、ちょっといい気分が仙台を離れることができました。

4日がランチョンセミナーです。当日は3つのランチョンセミナーが予定されていました。講師としては講演の内容はもちろんのこと、やはり参加の数が気になるようです。ランチョンには総勢200人近くが参加したようです。3で割れば70人程度の参加があれば普通ですが、院長のランチョンには120人を超える参加がありました。ということは残りのふたつは40人ずつということになります。他のランチョンの3倍も参加者があった理由は、決して院長が

第6回日本小児診療多職種研究会
ランチョンセミナー3
11月4日(土) 12:00~13:00
第5会場
東京国際コンベンションセンター 会場第1F「国際館5-01」
〒100-0224 東京都千代田区千代田5-0-1

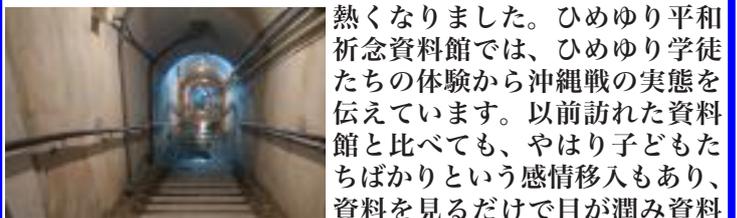
子育て支援の極意、それは『お母さんの不安・心配の解消』
～Keyword は多職種連携～

● 松裏 裕行 先生
（東京大学医学部センター・大森病院
小児科 准教授 部長）

● 川村 和久 先生
（かわむらこどもクリニック 院長）

有名人だったからではありません。「子育て支援の極意、それは『お母さんの不安心配の解消』～Keyword は多職種連携～」という名前が良かったのでしょうか。というか名前に騙されたのかもしれませんが。内容は開業理念『お母さんの不安・心配の解消』を支えに20年以上続けてきた子育て支援活動を、多くの人々から頂いた言葉を基に紹介しただけのことです。イントロダクションは赤ちゃんの時の写真を使う自己紹介です。そして、CLINIC NEWS、HP、医療相談、お母さんクラブ、かかりつけ専用メールにまで広がっていきます。そして、かかりつけの患者さんはもちろんのこと、ホームページ、医療相談者などから寄せられた言葉を紹介しました。医療相談者からの「先生の愛に触れることは、枯れ果てた私の心にどれだけの大きな安心感をもたらしてくれたかわかりません」も紹介し、最後は当院にかかったことがきっかけで看護師になった子、そして医師を目指している子からももらったメッセージを流し、それぞれが外部評価として活動を続ける力になっていると結びました。こんな講演ができるのは院長の力だけではなく、多くの人々の支えによるものです。この場を借りて、改めてお礼をいたします。

沖縄での講演ということで、もう一つ目的を持って出かけました。ひとりの日本人として沖縄戦がどんなものだったかを知るためのものでした。日本は太平洋戦争を経験し、戦争により多くの国民が亡くなりました。そのような多くの国民の犠牲の上に現在があります。その思いを持つようになってから広島平和記念資料館、長崎原爆資料館、知覧特攻平和会館、今回はひめゆりの塔を含めて沖縄戦に関係がある場所を訪れることにしました。ひめゆりの塔には慰霊のために花を供え、その場所に立っただけで目頭と胸が



熱くなりました。ひめゆり平和祈念資料館では、ひめゆり学徒たちの体験から沖縄戦の実態を伝えています。以前訪れた資料館と比べても、やはり子どもたちばかりという感情移入もあり、資料を見るだけで目が潤み資料をまともに読むことができませんでした。さらには旧海軍司令部壕にも足を伸ばしました。地中に張り巡らされたトンネルのすごさとともに、自決の際の手榴弾の爆発跡などの戦争の生々しさを感じてきました。戦争の悲惨さと命の尊さを伝える意味でも一度は訪れてほしい場所だと思いました。



いくら講演といえども、最近では休診が多くご迷惑をおかけしました。お陰様で空いた時間を利用して、目的を果たすことができました。講演の内容に皆さんの力添えをいただいただけでなく休診して出かけること自体皆さんのご理解とご協力のお陰です。ありがとうございました。

11月のお知らせ

- 臨時休診
18日(土)
全国学校保健・学校医大会(三重)
ご理解とご協力をお願いします。
- 栄養育児相談
8、22日(水) 13:30～
栄養士担当。無料

『子ども・子育て支援の都市仙台！ ネウボラを仙台に！！』

読者の広場

先月は7通のメールをもらいました。プライバシーに関わるものがありましたので、いくつか紹介します。



まずはお母さんが1人で受診した宮城野区の菅井さんからのメールです。「かわむら先生、こんばんは(*^▽^*)遅くに申し訳ありません。昨日は、子供達ではなく母がお世話になりました。子供と一緒に時ではなく、私単独なのに、お母さん内科に行ってくださいと帰すわけでもなく、診てくださってありがとうございました。子供達も、かわむら先生が大好きですが、もう20年以上先生の大ファンの私は、迷わずかわむら先生助けて〜と入ってしまいました。市販薬で、だいぶ落ち着いてきてはいたものの、先週の瀕死状態の時は、子供達が「ママかわむら先生に診て貰わないとダメだね、かわむら先生に行きな」と言うておりました。かわむら先生のところへ行っただけで、あれ?大丈夫かも?としっかり安心のお薬も頂き、恥ずがしながら吸入までして頂いて、フルセットのお薬も頂き、咳も落ち着きました。今日は、しのんのドッジの大会でしっかり応援もできました。ジュニアの部優勝しました。明日は、ゆんの運動会。行事続きだったので、お陰様で良くなりまして感謝です。いつも変わらず、優しく対応して下さい、私の心のケアまでして下さる先生を始め、優しい笑顔で対応して下さる看護師様、受付の方ありがとうございます。素敵すぎる理想のクリニックが大好きです。これからも、親子共々宜しくお願い致します。遅くに失礼致しました。」

病は気からではありませんが、安心薬というものがあります。最近あまり言わなくなりましたが、昔はよく「薬袋の中に安心が入っているから」と言ったのを思い出します。全ては開業理念である「お母さんの不安・心配の解消」であり、大人では「患者さんの不安・心配の解消」なのでしょう。

院長から「メールありがとう。返事遅くなりました。子どもたちの方がちゃんとわかってるかも(笑)生活習慣病や婦人科疾患でなければ、いつでも大丈夫。でもちゃんとわかってるはずだね。子どもたちに、よろしくと伝えて!!」と返信。そしたら次のような返事がきました。「かわむら先生こんにちは。お忙しいところ、返信ありがとうございます。れんも、お母さんがかわむら先生行っちゃった、すぐ良くなったと話したら、かわむら先生は、ホントすごいと思う、俺もすぐ良くなったしびっくりした、さすが知り尽くしてると言うてました。すっかり我が家のホームドクターですね。これからも、よろしくお願いします。」

続いてはちょっと遠い大和町から通ってくる○田さんからのメールです。「いつもお世話になっております。大和町の○田○花、○花の母です。昨日はありがとうございましたm(____)m休日当番とはいえ、先生もスタッフの皆さんもお疲れさまです。○花はあのあと熱は落ち着いて、ただすごく機嫌が悪くイヤイヤばかり。こんなに強い娘だったかなあ、耳が痛いのかなあとビビってましたが、今日お風呂で赤い発疹が体にいっぱいあるのを見て、突発だったのかもとホッとしました。週末、ディズニーランドに行ったのですが、あつちで夜に熱が上がり困ったあと思っていた時に、かわむら先生のクリニックメールを思い出して、日曜日診てもらおう!と安心していました(笑)。初めて旦那と一緒に行きましたが、私が先生の信者(笑)なのが、わかったと話しておりました!本当にありがとうございましたm(____)m急に寒くなりました。体調崩さないように私たちも気をつけます!」

遠くても頼りになるのがかかりつけです。ディズニーランドに行って熱が上がったのは、ちょっとアンラッキーでしたね。でも当院が診療していることとメールを受けていることが安心につながったようで何よりでした。遠くから通うことには、必ずしもご主人の納得が得られないかもしれません。信者であることが理解してもらえれば、色々な意味で大手を振って来れますね(笑)気をつけて通うようにしてください。



「小児科医がやさしく教える 赤ちゃん・子ども病気」電子化出版

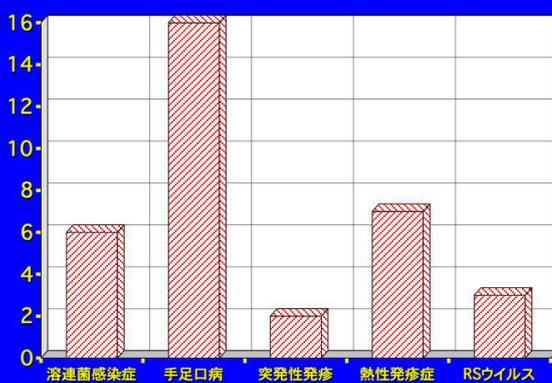
2002年刊行の著書が、2017年9月1日電子書籍となりました。

書籍版は発売2年間で8,000部を売り上げた、幻のベストセラーでした(笑) 電子書籍版は、紙書籍の発刊当時の内容のまま改めて制作・刊行をが原則ですが、予防接種スケジュール、感染症に関しては一部修正してあります。

右のQRコードからPHP研究所に飛びます。本の説明だけでなく、購入も可能です。是非お買い求めください。



10月の感染症の集計



ヘルパンギーナは見られず、手足口病もやっと減少してきました。RSウイルス感染症が多く見られています。9月に10人いたインフルエンザは消えてしまいました。季節の変わり目のせいか咳がひどく止まりにくい気管支炎が多く、喘息も増えてきました。

Mail News, Facebook の紹介

Mail News は、580人を越えるお母さんが登録。右のQRコードから登録できます。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。

最新情報はFBを見てください。MailNews Facebook
Mail Newsが届かない場合は kodomo-clinic.or.jp をドメイン指定して下さい。不明な点は受付まで問い合わせ下さい。



編集後記

今月も編集後記は、発行の遅れのお詫びです。院長の忙しさは半端ありません。平日は4日会議が入り、月2回は出張です。11月は4回も出張があり、沖縄、三重、そして東京が2回です。沖縄に講演と呼ばれることは、ある意味名誉なことです。ただの開業医で患者さんをしっかり診る。それだけでいいのですが、せっかく医師になったのですから社会貢献も重要です。



K's clinic

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』
『お母さんクラブ』現在会員を募集中です。参加希望は受付まで。!!